

広報

まつざき

2023

6

No.709

花畑に浮かぶこいのぼり（5月3日～5日）

那賀川バイパス沿いの花畑にこいのぼりが揚がりました。

花畑では、無料花摘みや花かんむり製作体験が行われ、多くの人で賑わいました。

町議会会議員選挙

新しい町民の代弁者

8人の議員が決まりました

松崎町議会議員選挙が、4月18日に告示され、議員定数8人に対し、11人の候補者が立候補し、5日間の選挙戦の中で、各自の公約を掲げ、町民の支持を訴えました。

投票は、4月23日、町内15カ所の投票所で行われ、即日開票の結果、8人の新議員が誕生し、翌24日には、田口聡選挙管理委員会委員長から当選証書が付与されました。新議員の皆さんには、これから4年間、町民の代弁者として、ご尽力いただくこととなります。

以下、当選された方々をご紹介します。(得票順)

【問合せ】

松崎町選挙管理委員会

(42) 1111



田中 道源 議員



菜野 良枝 議員



藤井 昭一 議員



高柳 孝博 議員



高橋 良延 議員



藤井 要 議員



深澤 守 議員



小林 克己 議員



選挙結果

投票率 73.98%

	当	当	当	当	当	当	当	当	当	当
▽無効	298	321	340	391	396	409	413	577	577	577
▽有効	261	257	245	391	814	185	185	185	185	185
▽投票者総数	56	57	54	782	1199	594	594	762	762	762
	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現
	守	克己	孝博	良延	要	道源	良枝	昭一	昭一	昭一
	56	56	76	61	72	44	58	51	51	51
	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現
	渡辺	成川	鈴木	高橋	藤井	田中	菜野	藤井	藤井	藤井
	文彦	幸世	茂孝	孝博	要	道源	良枝	昭一	昭一	昭一
	69	57	52	76	72	44	58	51	51	51
	無現	共新	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現	無現

令和5年度「松崎の教育」が目指すもの

教職員同士の「知り合う」がキーワード

1 はじめに

令和5年度から、今後10年間の町政を見通した『第6次松崎町総合計画』がスタートしました。それに伴い、教育委員会においても、『松崎町教育大綱』を改訂し、その1年目を始めていくところと見えています。

基にした今後の主要な施策については、町内教育施設の「教職員同士の学び」に視点をあてました。

2 教職員同士の学びに視点をあてた理由

松崎町には、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校があります。このように教育施設が整っている町は、人口規模が同程度の他の町と比較してもあまり見られない好環境です。言い換えれば、このような環境が整っている

ことは、松崎町の大きな財産と言えます。この財産を生かし、教職員の学びに視点をあて、今後の施策の主として展開していきたいと考えています。

「松崎の子」は、年齢の違いはあっても町内の教育施設で成長していきます。子どもの立場から教職員を見れば、それぞれの教育施設の教職員は「先生」です。子どもの目には、町立・私立・県立など、学校設置者の違いなどは見えていません。松崎町で働く教職員に「松崎の子を育む先生」という意識を共有していきたいと思えます。

町内で働く「同じ先生」が、顔も名前も知らない関係であってはなりません。まず、お互いを「知り合う」ことが大切であるとし、施策の1年目をスタートさせていきます。

具体的には、「松崎の子」に関わる全ての先生が一堂に会し、お互いを紹介し合い、名前と顔をしっかりと認識する場を5月に設定しました。

3 教職員同士がどのような「知り合う」か。

また、地域おこし協力隊や地域の方などの協力を得て、松崎町を知るための「体験活動」プログラムをいくつか設定します。教職員は、自分の興味・関心によって「体験活動」を選択し、校種を超えたグループをつくり、7月下旬頃に共通の体験をします。

さらに、教職員が体験したことを他のグループに発表し、感想などを述べて交流する場を11月に行います。

これまでの「松崎の教育」にはない新しい取り組みですが、教職員自身の「わくわくする」や「おもしろい」、「もっとやってみたい」という感情を引き出したいと考えています。

4 教職員の「わくわく感」を町の活力に

教職員の姿は、松崎の子どものモデルになります。教職員自身が「わくわく感」を持ちながら楽しんで活動すれば、それが子どもたちにも伝播します。学校の先生と子どもたちが明るく活動する姿は、保護者や地域の方々の安心感や松崎町の活力を高めることにもつながると考えています。

また、求められる知識・技能が刻々と変わっている今の時代では、教職員自身が常にアンテナを高く持ちながら情報収集し、継続的に学ぶことが求められています。そのためにも、教職員間の横のつながりをつくっていくことはとても重要なことです。他校種の教職員と知り合い、活動を共にすること、そこに自ずと対話や振り返りの機会が生まれ、校種を超えた教職員間の協働的な学びが生まれてくるはずと見えています。

このような仕組みをつくることで、それぞれの教師の専門性を高めたいと考えます。また、主体的に学ぶ

5 おわりに

「松崎の教育」では、引き続き松崎町ならではの教育の源流である「松崎町幼小中教職員のクレド」と「21世紀松崎町3つの実践運動」という土台を忘れず、日々の教育活動を行ってまいります。

町民の皆さま方には、松崎の教育に対してご理解いただき、今まで同様、ご支援ご協力をお願いいたします。

【問合せ】
教育委員会(42)3971

3

町政懇談会

5月9日から13日にかけて、町内4会場で町政懇談会を開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。

その概要として、お寄せいただいたご意見などの一部をご紹介します。

5月9日 旧中川小学校 (参加者31人)

○大河ドラマの影響で、よく葦山に行くようになったが、葦山は史跡などの観光案内に由緒などの説明が細かくされていた。松崎町も小杉原の大蛇伝説などもつとPRすべきところがたくさんある。

(町長) 旅行の形態も変わってきている中で今後も積極的に取り組んでいく。

○浜岡原発で、もし事故が

起きた場合、それが西風が強いときだとこちら側に吹いてくる。原発近くの自治体だとヨウ素剤の備蓄などをしていようだが、松崎町ではどうか。

(町長) 現時点での防災の想定ではヨウ素剤の備蓄が必要という状況ではないが、必要があれば検討する。

○池代川の状態が変わってきている。昔は大雨が降ると岩がゴロゴロと鳴っていたが、最近は岩がなくなつて音も聞こえなくなつた。岩が流れを緩やかにしていると思うので、それがなくなつて大雨が降ると怖い。

自然を守るのも大事だが、そういうことも行政には知っておいてほしい。

(産業建設課長) 雲見の災害もあって、非常に不安に

思われることもあると思うが、どこの護岸を整備していけばいいのかなど難しいところもある。あそこは県管理河川なので、いろいろ情報交換しながら、状況を見ていきたい。

5月10日 旧岩科小学校 (参加者37人)

○耕作放棄地対策は、町で販路を確保してくれるなどの具体的な施策を出してほしい。旧三浦小のプールで伊勢エビ・アワビを養殖するとか、新しい施策に取り組んでほしい。

(町長) おっしゃるとおり前を向いてチャレンジし、遊休施設の活用など、いろいろご意見をいただきながら検討していきたい。

○遊休施設を利用してというのだが、岩科診療所はまさしく遊休施設を利用するといふもの。スムーズにいけば今年の4月にスター

トできることになっていたが、町長が変わって白紙になった。町長として松崎の医療をどうしたいのか教えてほしい。

(町長) 地域医療振興協会との話の中でも、医療機関の経営は厳しく、集客施設との複合施設としているところもあり、人口が減少している賀茂地域の診療所などについても、今後、経営の面は無視できないというようなことを言われた。診療所を造るといふことだけではなく、いろいろなことを考慮して検討したい。松崎エリアだけでなく、賀茂エリアということも考えている。医療関係者や国、県などさまざまな人や団体の意見を聞きながら進めていきたい。

○近所に高齢者夫婦がいて、病気ではないが、やっと生活している。介護サービスなどは受けていないが、そういう方のSOSをどのよ

うに捉えていくのか。定期巡回するような仕組みも検討してほしい。

(町長) 周りで気付くということが大事だが、コミュニティのつながりが希薄になっており、そのつながりを取り戻すことが必要。

民生委員さんや区長さんだけということではなく、みんなが少しずつでも周りを気にしていく、つながりをもっていくというコミュニティの力を取り戻せるような仕組みづくりをしていきたい。



▲ 5月10日 旧岩科小学校

**5月11日 石部公民館
(参加者44人)**

○町道石部線の通行止めが続いているが、非常に不便。工事が遅れている理由など区民が納得できる説明をしてほしい。

(産業建設課長) 石部線については大変なご不便をおかけして申し訳ございません。12月に発注しているが、受注業者もたくさん仕事を抱えており、4月に入ってから工している。6月末までには完成する予定だが、できるだけ早くやつていきたい。

○南伊豆地域広域ごみ処理事業の基本計画などを雲見地区に説明してない。

(生活環境課長) 広域処理施設の整備に係る基本計画はまとめたが、下田市敷根の予定地の環境アセス調査を実施中であり、その結果が秋に出る見込みで、その結果を踏まえて地区に説明させていただく予定。

○雲見の玄関口の3階建ての建物の壁が崩落して、隣や道路に落ちた。町で壁も建てているが、その後の対応をしていない。一気に崩れたりすれば事故になる。

町の責任にもなると思う。早急に所有者への対応をしてほしい。議員も議会でのことを取り上げてほしい。

(産業建設課長) 本人にも連絡してこちらへ来てほしいという話をしているが、コロナを理由にずっと来ていない。建物については、建築基準法の関係で県知事の方から文書で改善計画を提出しなさいということを出してもらっているが、返事がない状況。次の段階の通知などを検討していく。

**5月13日 環境改善センター
(参加者48人)**

○コンパッションタウン松崎というまちづくりを進めるには、人と人の結びつき、コミュニティづくりが重要

だと思ふ。そのことについてどのように取り組んでいくのか、予算もないようなので、具体的なものが見えない。

(町長) 地域の実状や課題を把握して取り組んでいく。地区の運営もどこも大変厳しいという状況、老人会も女性会もなくなりつつある。これまでと同じやり方では、どこもやっていけないところにいる。そういったところを皆さんと検討していき、必要な予算は確保していく。

○スマートフォン講座や助成を実施するということが、放送が聞こえないこともあるので、スマートフォンに放送の内容を知らせてくれるということではできないか。

(総務課長) 同報無線で放送した内容は現在、希望する方にメール配信している。希望する方は総務課消防防災係にお問い合わせください。

○中高生の子どもがいるが、中学生は同学年が30人くらいで1クラス、小学校からずっと一緒。昔と違ってクラス替えもなく、刺激もなくて非常につらいと思うが、そのことをどのように考えているのか。

(町長) 幼保からずっと一緒という状況は理解しており、近隣との統合も視野にいれなければいけない状況。その中でも中高一貫校の検討や地域との交流など、自分たちの頃とは違う人との付き合い方もあるのではと考えている。

(教育長) 海洋クラブでの体験など学級だけではなく、学年を越えた仲間も大事だと考えている。松崎町は幼稚園・保育園・小中学校・高校と人口規模の割には教育施設が整っているが、先生方の交流はどうなのかと、思っている。先生同士の交流を目的とした「先生大集合」を開催する。そんな交流を通して高校生が小

学生に何かを教える、中学生が高校生に部活で教えてもらうといったことにつながればと考えている。



▲5月13日 環境改善センター

この他にも、たくさんのご意見・ご要望をいただきました。お寄せいただきましたご意見などは、今後の町政に反映させられるよう努めてまいりますので、引き続き皆さまのご理解ご協力をお願いします。

【問合せ】

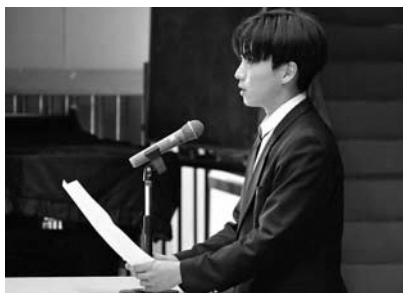
企画観光課(42)3964

松崎高校広報く西豆と共にく(連携型中高一貫教育)

前期生徒会長選挙

3月10日、令和5年度前期生徒会長選挙を行いました。

「伊豆松崎分校さんとの関わりを増やしていきたい。文化祭では作品づくりを通して、みんなが一つになつて作品が生まれたと感じてほしい」と述べた3年生の相馬史季君が信任投票により信任されました。ますます盛んになるであろう学校行事や日常生活の充実に向けて、会長はじめ生徒会本部の取り組みが期待されます。



入学式

4月10日、63人の令和5年度入学生を迎えて入学式を行いました。

新入生を代表して、松崎中学校出身の鈴木和奏さんが「高校は社会人として必要な力を身に付けなければならぬ場です。その力の一つは自主性だと思います。高校で自立した人間になれるよう何事も積極的に取り組んでいきます」と高校入学に際しての決意を述べ、宣誓を行いました。



新入生オリエンテーション

4月14日に新入生オリエンテーションを行いました。

参加した1年生からは「高校や伊豆松崎分校のことがよく分かり、校歌の練習や他のクラスの人と交流ができて良かった」「将来を決めるのは人の意見も大切だけど、自分の意思が一番大切」「どんな職種でも常に誰かのためになることをしているのだと改めて感じた」のような感想が聞かれました。コロナ禍で何年もできなかった校歌の練習も久しぶりに行いました。



【問合せ】松崎高校(42) 0131

令和4年度 大学等合格実績及び就職先 (令和5年3月卒業生)

《 四年制大学・短期大学 》

日本大学、東海大学、神奈川大学、国士館大学、大正大学、文教大学、常葉大学、杏林大学、愛知大学、桜美林大学、浜松学院大学、常葉大学短期大学部、静岡英和学院大学短期大学部 など

《 専修学校・専門学校 》

静岡県立看護専門学校、静岡市立看護専門学校、沼津市立看護専門学校、静岡デザイン専門学校、国際文化理容美容専門学校、横浜公務員&IT会計専門学校、大原法律公務員専門学校 など

《 就職(公務員を含む) 》

自衛隊(一般曹候補生)、三島信用金庫、松崎十字の園、(株)下田セントラルホテル、横浜ゴム(株)、エリエールペーパー(株)、(株)共立メンテナンス、(株)牛若丸、山崎製パン(株) など

●長期間にわたる避難所での生活を回避 ●避難所での感染リスクを回避

地震発生後も、住み慣れた自宅で生活を！

昭和56年5月31日以前に建てられた旧耐震基準の木造住宅にお住まいの方

⇒専門家による無料の耐震診断

を受けられます！

⇒耐震補強工事には補助制度

を活用できます！

無料の診断は
令和6年度で
終了です！

【補助額】一般世帯：最大115万円

高齢者のみ世帯など：最大135万円

※詳細は下記までお問い合わせ
ください。



プロジェクト

TOUKAI [東海
倒壊]—0 今すぐ、耐震化しましょう！

【問合せ】 産業建設課 (42)3965

暮らしなんでも相談

日常生活で起こるトラブルや悩み事、困ったこと（心の悩み、消費生活、住まい、生きがい、介護、法律など）、どこに相談すれば良いか分からないときの相談窓口です。悩み事を一緒に考え、専門的なアドバイス先をご案内します。

なお、相談・取次ぎは無料ですが、専門家に相談する場合は別途料金がかかることがあります。

〈たとえばこんなお悩みの方〉

—生活相談—

消費生活、
不動産、環境、
墓・葬儀、子育て、
福祉・介護、
法律関係など

—人間関係の相談—

家庭内や
近所つきあい、
会社などでの
人間関係の悩み

—生活保障・設計相談—

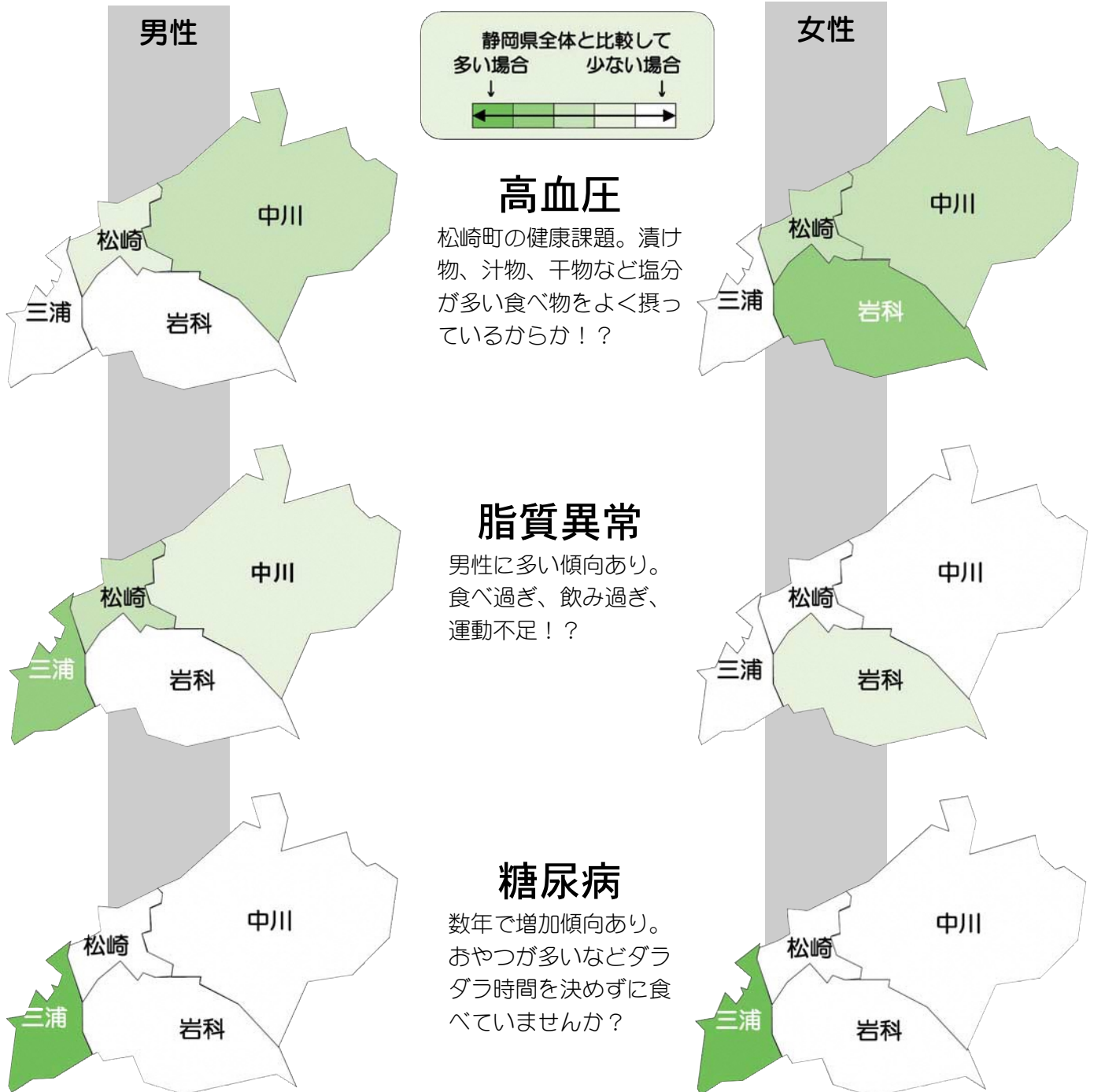
融資・生活資金、
クレサラ、税金、
医療・保険・補償、
生活困窮など

【相談受付ダイヤル】 ライフサポートセンター東部事務所 055(922)3715
受付時間 平日 9時～17時

「行こうじゃ！特定健診」

特定健診では、高血圧、脂質異常、糖尿病などの病気の危険因子が分かります。これらの数値が高くても自覚症状はほとんどありませんが、心臓や血管に負担を与え、脳卒中や心筋梗塞、腎不全など、重大な病気につながっていくため危険です。

特に松崎町の健診結果を静岡県全体と比較すると高血圧の方がとても多いです。



あなたの健康を特定健診で見てくださいませんか？

特定健診の予約は6月12日(月)～

対象者：40歳から74歳の国民健康保険の方、後期高齢者医療保険の方

【問合せ】 健康福祉課 (42)3966



春キャベツの肉巻き
アンチョビソースかけ

－ここがポイント－

☆旬野菜のキャベツを使ったレシピ

(1食あたり)

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
333kcal	18.5g	18.1g	35.1g	0.8g

－材料(4人前)－

アンチョビソース

- ・ニンニク …………… 1かけ
- ・アンチョビフィレ …………… 15g

- A {
- ・オリーブオイル ……大さじ 1
 - ・バルサミコ酢 ……大さじ 1
 - ・しょうゆ ……………大さじ 1/2
 - ・砂糖 ……………ひとつまみ
 - ・こしょう ……………少々

春キャベツの肉巻き

- ・春キャベツ …………… 1/2玉
- ・豚バラ肉 …………… 400g

－作り方－

アンチョビソース

- ①ニンニクは牛乳(分量外)でやわらかくなるまで煮る。アンチョビはみじん切りにする。
- ②ボールにニンニク、アンチョビを入れて潰し、Aを合わせる。

春キャベツの肉巻き

- ①キャベツは半分に切り、4cm角程度に切る。切った後は形を崩さないようにする。
- ②キャベツを肉で巻く。
- ③②をフライパンに並べ入れ焼き色がついたら、フタをして5分蒸し焼きにする。
- ④器に盛りアンチョビソースをかける。

【問合せ】 健康福祉課 (42)3966

町長コラム

第18回

まちの持続可能性

松崎町長 深澤 準弥

2014年5月に日本創世会議が公表した消滅可能性都市の衝撃から9年経ちました。つい先日には、新たに50年後の将来人口推計が発表され、2040年に高齢化のピークを迎え、2070年には日本の全人口が、8700万人になるとのこと。今よりも3割減少することになります。これは全国の話で、地方ではより一層減少することが懸念されています。

人口減少による縮小社会への対策は、高齢者や外国人による労働力の確保や国内だけでなくインバウンド(海外から)の観光客の来訪による経済

の活性化とともに、人口減少を前提とした行政サービスを周辺自治体と連携し、医療、教育、産業振興、地域交通などの仕事を分担、協力しなければ将来にわたって維持はできないこととなります。

松崎町では人口減少下でも、誇り高く、穏やかに、豊かに生きられるまちを目指しております。そのためには、誰かがやるのではなく、誰もがやる必要があります。町内外問わず、我がふるさと松崎町のことを考え、行動いただける方々とともに、官民が「きょうどう」し、この町の持続可能性を高めていきたいと思います。

6月は土砂災害 防止月間です

6月は、国土交通省が定める「土砂災害防止月間」です。近年、異常気象などによる豪雨が各地で発生し、土砂災害によって大きな被害が出ています。これから梅雨や台風季節となりますが、いつ起こるか分からない土砂災害から命を守るには、早め早めに防災情報を得ることが大切です。

危険箇所をチェック

土砂災害によって、生命や身体に危害を生じる恐れがあると判断された場所は、土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域などに指定されています。ハザードマップなどを活用して、災害が起こりやすい場所や身近な危険箇所を確認しておきましょう。

警戒レベルをチェック

水害や土砂災害による被害が発生する恐れがある場合、左記の「警戒レベル」を用いて、避難のタイミングをお伝えします。町からは、防災行政無線や町ホームページなどを通じてお知らせします。避難の情報が発令された場合は、安全な場所へ避難するようにしましょう。

警戒レベル	取るべき行動	避難情報
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保
4	危険な場所から全員避難	避難指示
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	自らの避難行動を確認	注意報
1	災害への心構えを高める	早期注意情報

【問合せ】
総務課 (42) 3963

静岡県防災アプリ

静岡県防災アプリは、各種緊急情報の通知、災害別ハザードマップ、平時の防災学習および避難トレーニングなど、災害時に役立つ機能を備えたスマートフォン向けのアプリです。静岡県防災アプリはQRコードからインストールできますので、ご活用ください。



▲静岡県防災アプリ QRコード



【問合せ】
静岡県危機情報課
054 (221) 2644

地域おこし協力隊活動レポート

杉山 藍子

Vol.21

松崎町に移り住み9カ月。冬の強風と寒さには驚きました。春、眠っていた生命たちが次々に芽吹きはじめ、色鮮やかに日々変化していく様子を楽しみました。移住後、子どもの頃からの夢の一つ「畑作り」がようやく叶い、喜びに満ちた日々を過ごしています。



▲西豆学で農業体験をする松崎高校の学生

下町育ちの私にとって、自然豊かで田畑や山、海が近くにある住環境は憧れでした。そのため、旅行先を選ぶときの第一条件は、農業や酪農、漁体験ができる場所でした。松崎町では、当たり前にあるこの環境。とても恵まれていて、遠くでも時間と費用をかけてでも体感しにきたい魅力的な場所だと私は思うのです。私の参加する町づくり「2030松崎プロジェクト」チーム農と漁・猟では、耕作放棄地を活用して、農業体験の機会をつくっています。地域の方との交流、町の子どもたちの職業体験、都市部に住む方の農業体験といった多様なきっかけの場となり、松崎町が農に携わる人で賑わうことを次の夢にします。

【問合せ】
企画観光課 (42) 3964

My Town Topics ～まちのできごと～

デジタルハリウッド大学大学院による地域課題解決報告会



4月16日、デジタルハリウッド大学大学院による地域課題解決報告会が、環境改善センターで行われました。

SOKO LIFE TECHNOLOGY (株) 代表取締役 菅原氏による基調講演、山崎特任教授によるデジタルハリウッド大学大学院での取り組み紹介後、自然テックチームによる松崎町の地域課題解決の報告が行われました。

みどりの少年団入団式

4月22日、みどりの少年団が伊那下神社から牛原山へ登り、入団式を開催しました。

今年は10人が入団し、入団式後には、つばきの小道での植樹やマックスバリュ松崎店で緑の募金活動を行いました。団員は「活動を通じて、花とロマンの里のふるさとを愛し、自然やものを大切に、活動を最後までやり遂げます」と誓いの言葉を述べました。



田んぼをつかった花畑「無料花摘み」「花かんむり製作体験」



5月3日から5日まで、田んぼをつかった花畑で「無料花摘み」と「花かんむり製作体験」が行われ、多くの方で賑わいました。

「花かんむり製作体験」に参加した方たちは、自分のつくりたい花かんむりをイメージしながら自分の好きな色の花を摘み、講師の大谷さんに指導を受けながら、一人一人オリジナルの花かんむりを完成させました。

桜葉の収穫最盛期を迎える

全国シェアの約7割の生産量を誇る桜葉の収穫が、5月から最盛期を迎えています。町内には約40戸の栽培農家があり、年間の出荷量は約1800万枚です。

今年は例年よりも収穫時期が早く、現時点では病虫害被害はなく、育成は順調です。収穫は虫に食われた葉などを選別しながら丁寧に摘み取りました。



町の人口と世帯

(令和5年4月30日現在)
()内は前月比

総人口	5,905人	(-20人)
男	2,795人	(-10人)
女	3,110人	(-10人)
世帯数	2,874戸	(-11戸)
転入	24人	転出 29人
出生	1人	死亡 16人

(4月届出分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
東区	蒼葉	女	高橋友和

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
峰輪	鈴木悦子	77	鈴木真之
明伏	山本金男	74	山本陽子
山口	稲葉智恵子	91	今真由美
櫻田	平野章	86	平野明美
北区	遠藤作太郎	101	依田直子
中区	関鶴次	94	関由枝
石部	渡辺敦子	69	渡辺重夫
伏倉	高橋五實	82	高橋清一
櫻田	平野糸枝	100	平野誠一
指川	大木安子	86	大木重治
江奈1	飯野ふさ	90	飯野郁男
宮内	菊池ちよ子	91	菊池浩
江奈4	奥山幸夫	91	奥山治幸

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

令和5年4月発生分

()内は前年同月比

人身事故	0件	(-1)
物損事故	13件	(+6)
死者	0人	(±0)
傷者	0人	(-1)



ピカピカキッズ

3歳児健診で「虫歯」がなかった
お子さんをご紹介します。



高橋 未来^{みくる}くん
(大澤)



山本 湊叶^{みなと}くん
(宮内)



高橋 翔^{かける}くん
(峰輪)

【問合せ】健康福祉課 (42)3966

五月晴れ初節句祝う鯉のぼり
影にのろのろ歩く猫のいて

この先を何年かざれることだろう
わたしの造りし陶のひひなを

土手を巾き春はにほふや探してみる
野水仙むれかすかに揺れて

松崎文芸

— 短歌 —

石田安江

岡村芳子

杉山安紀子